

今月の表紙



座席の位置や乗車する時刻、季節によって違った趣が楽しめるローカル列車「JR名松線」。夕暮れ的美杉を走る姿をドローンで空撮し、鉄道ジオラマ風に仕上げました。P9に掲載の全線開業90周年イベントもチェック♪

撮影日 9月17日

ところ 美杉町竹原

撮影の様子を津市行政チャンネル「まるっと津ガイド」のコーナー「ワンシーン」で紹介しています。

ケーブルテレビ 123ch または YouTube でご覧ください。



人口と世帯数

(2025年9月1日現在)

	前月比
世帯	129,342世帯(-16世帯)
人口	266,353人(-181人)
男	129,690人
女	136,663人

市政へのご意見・ご要望

地域連携課

〒514-8611

津市西丸之内23-1

☎229-3105

☎229-3366

✉info@city.tsu.lg.jp



津市の情報はここから

津市公式
ホームページ



津市公式
LINE



ボートレース津
レース開催情報



YouTube
行政情報チャンネル



Facebook
津市シティ
プロモーション情報



防災情報メール
防災メールの登録



マチイロ
広報津アプリ



Meetsu!
シティプロモーション
特設サイト



ごみ分別
ガイドブック



津市長のメッセージ

県内唯一の
空港アクセスが築いた20年



津市長 前葉 泰幸



津なぎさまちと中部国際空港を高速船で結ぶ津航路は、今年で20周年を迎えました。港湾施設は県が国の補助金5億円を含む15億円を拠出して整備し、ターミナル・無料駐車場等の整備には市が15億円を投じました。そして高速船は、市が赤塚グループからの寄付5億円と県の補助金2億円を活用して9億円をかけて建造し、運航は津エアポートライン株式会社が担うという「公設民営」でスタート。国・県・市・民が共に築き上げた、新しい形の公共交通の路です。

この20年間、市は10億円をかけて施設の維持管理を行い、津エアポートラインは燃料費や修繕費など8億円に加え、市への備船料約1億円を負担。赤字補填を受けることなく、運賃収入で運航経費を賄いながら、公共交通としての使命を果たしてきました。こうして維持してきた津航路は、鉄道よりも速く、安価な空港アクセスとして親しまれ、今では県内唯一の海上アクセスとして、その役割を担い続けています。

そういった中、高速船フェニックスが故障し引退せざるを得なくなりました。大切な航路を未来へつなぐため、津市は国・県と連携し、津エアポートラインと協議を重ねながら、新たな船の導入に向けて再スタートを切ります。皆様に支えられてきた海の路が、これからも暮らしと夢を運び続けるよう、責任を持って取り組んでまいります。

動画でも配信中!



津市長に聞く!
津市の今

P3

特集をCHECK!